

作成日：西暦 2026 年 7 月 10 日

## 「職域女性健康アドボケイト養成講座」を受講された皆さまへ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、これから実施する調査で得られる情報に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年3月23日制定 令和3年6月30日施行）」により、対象となる皆様のお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

### 1. 研究課題名

対話型シミュレーターを用いた職域女性健康アドボケイト養成プログラムの開発と評価—専門職をベンチマークとした非産業保健専門職の対話ログ解析と受講後評価—

### 2. 研究期間

研究機関の長の許可日～2029年10月31日

### 3. 研究機関

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター

### 4. 研究責任者

産業医科大学産業生態科学研究所 災害産業保健センター 教授 立石 清一郎

### 5. 研究の目的と意義

2026年から始まる「女性健康問診」などをきっかけに、職場での月経や更年期に関する相談ニーズは一気に増えることが予想されます。しかし、社内の専門スタッフ（産業医や保健師）だけではすべての初期対応をカバーできません。そのため、身近な同僚や管理職の皆さんが、最初の相談相手として話を聴き、専門スタッフへ繋ぐ役割を担うことが今、強く求められています。そこで本研究では、新開発の「動画」と「チャット形式の会話シミュレーター」を受講された際のデータを使用させていただき、このプログラムが職場での相談対応にどう役立つかを検証します。皆さんの受講データ（名前は完全に消します）を分析し、産業医などの専門家のデータと比較することで、「専門知識がない人が、相談を受けるときに具体的にどの場面で迷いやすいのか」を明らかにします。この結果は、誰もが仕事の合間に無理なく実践的なスキルを身につけられるような教材づくりに直接役立ち、誰もが安心して働き続けられる職場環境の実現へとつながります。

### 6. 研究の方法

本研修プログラムを2026年2月に受講された従業員および管理職の方の会話シミュレーターのチャットログと事前・事後アンケートのデータを用います。

お預かりするデータの取り扱い：

このプログラムを通して発生した「シミュレーターの利用記録」と「アンケートの回答」を研究データとして使わせていただきます。解析を行う前に、お名前などの個人情報はずべて削除し、完全に誰のものか分からない状態（匿名データ）にしてから、産業医科大学の安全な環境で統計的に分析します。

「シミュレーターで何回やり直したか」といった個人の結果や、アンケートの具体的な回答内容が、皆さんの会社や上司に知られることは一切ありません。人事評価等に影響することは絶対にありません。

#### 7. 個人情報の取り扱い

本研究では、皆さんのプライバシーを最優先に守るため、データをお預かりする時点で「どこの誰が回答したか」が完全に分からない状態（匿名データ）にしてから分析を行います。アンケートでお預かりしたお名前等の個人情報は、研究用IDに置き換えて解析を行い、氏名とIDを結びつける対応表は研究責任者のもとで厳重に保管・管理します。研究参加の拒否やデータ削除のお申し出（同意撤回）があった場合は、対応表を用いて該当するアンケートデータを特定し、速やかに破棄・削除いたします。得られた研究データおよび対応表は、産業医科大学災害産業保健センターの鍵のかかる保管庫およびパスワード保護された安全な環境で保管します。この研究で得られたデータは、院内の規定に従い、原則として、資料（文書、数値データ、画像など）は、当該学会等の発表後10年間保存された後、全て廃棄します。その際には研究責任者の管理の下、匿名化（個人識別不可能）したことを確認し、紙媒体のものはマスキングを施した上でシュレッダー処分し、電子媒体のものは復元不可能となるよう初期化を行い、個人情報が外部に漏れないように対処します。また同意が撤回された場合には、その時点までに得られたデータを同様の措置で廃棄します。ただし、シミュレーターのログデータは個人を特定できない完全匿名データとして保存されているため、ログデータのための個別削除には応じられません。

#### 8. 得られた情報の利用目的の範囲

- ・学術発表など研究目的：あり
- ・第三者提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・海外への提供：あり（論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
- ・公的データベース等への登録：なし

#### 9. 問い合わせ先

産業医科大学 産業生態科学研究所 災害産業保健センター  
教授 立石清一郎（093-691-7180）  
非常勤講師 新里なつみ（092-575-4513）

#### 10. その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は、国から交付された公的な補助金（厚生労働科学研究費補助金）、本学の運営費（講座研究費）、および奨学寄附金（災害産業保健セ

ンター）により行われます。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。